

機能分類	諸室名	諸室機能
創造系・支援系機能	リハーサル室	<p>広さはホールの主舞台に準じる広さを備え、舞台芸術作品を創造するための機能を備える。必要に応じて仮組みの大道具や本番用の舞台照明を仕込んで立稽古を行なうこともある。そのためには、中長期の連続使用が可能ないように検討する必要がある。設備として姿見やバレーバー、舞台照明や舞台音響設備も備えることがある。</p> <p>また特殊なケースとして、ホールの楽屋としても使用ができる動線を確保しておくこともある。</p> <p>また、移動型の客席を備える(組み立てる)ことによって、小規模な公演や試演会を行う可能性を残すことも考えられる。特に平土間で固定の客席を持たないことから、任意の位置に舞台や客席を設定できると共に、舞台芸術や音楽芸術の公演というだけでなく、自由な発想での利用が期待できる。ただし、そのためには遮音性能や静音性能にも優れている必要がある。</p>
	練習室	<p>リハーサル室に比較して、大道具などの仮組みまでは想定しないが、小規模の練習(立ち稽古など)が行なえる部屋。</p> <p>また、本番前の声出しや音出しなども行なえることが望まれる。</p>
	スタジオ	<p>練習室よりさらに小規模な部屋で、数人でのアンサンブルの練習や本番前の音出し、声だしなどが行なえる必要がある。一般には、生音の楽器の練習に適したスタジオの他に、電気楽器を使用できる吸音性能と遮音性能の高いスタジオを整備することがある。</p> <p>ピアノやドラムセットを常設するスタジオを計画することもある。</p>
	創造スタッフ室	<p>積極的に市民参加活動を行なっていこうとする市民(あるいは団体)のための控室。打合わせや印刷などの作業を行なうことに加えて、定期的な活動を行なう団体毎の収納ロッカーを設置する。</p>
	授乳室	<p>施設利用者が授乳や着替えをさせるために使用するための部屋。洗面設備などを設けることがある。</p>
	託児室	<p>子どもを同伴して来館された方が、鑑賞や活動の間、一時的に子どもを預かる機能を備えた部屋。洗面や子どものための更衣スペースやトイレなどを備える。</p> <p>利用に際して、子どもの面倒を見てくれる専門家を配置するかどうかは運営によって決定する。</p>
	会議室	<p>会議や小規模のレクチャーなどが可能な機能を備える。必要に応じて隣室と一体利用ができるなど、利用によって会議室の大きさが可変できることもある。ただし、隣室間では一定の遮音性能を備える必要もある。</p>
	更衣室	<p>リハーサル室や練習室で練習する前に着がえるための部屋。男女別に更衣室を計画し、施錠ができるロッカーを内部に設置することもある。</p> <p>また、必要に応じてシャワー室やトイレなどの併設も考えられる。</p>
	ロッカー室	<p>手荷物を置いてリハーサル室や練習室で練習をする場合の利用を想定。ただし、上記の更衣室内にまとめて計画する場合もある。</p>
	楽器庫	<p>練習室で使用する楽器(多くはピアノ及び椅子、移動台車など)を格納し、常時温度と湿度の管理を単独で行なえるようにする。リハーサル室や練習室の数が多い場合には、収納する楽器の台数や種類も増えてくる可能性がある。</p>
展示系機能	展示室	<p>大型の作品を展示できるように4m以上の天井高さを備える。展示室の四周を展示壁面とするが、天井吊移動型パネルを供えることで、展示壁面長を補うと共に自在な展示空間を形成できるようにする。</p> <p>展示される作品は、平面作品だけでなく立体や生花など様々な利用に加えて、関連ワークショップや講演なども想定する。</p>
	準備室	<p>展示室で行なう準備を行なえる機能を備える。水場を備えるとともに作業台や必要な備品庫などを配置する。</p>
	備品庫・収納他	<p>展示台や展示照明、脚立や高所作業台など展示のための準備を行なう備品などを収納しておく。</p>